

# 「未来のおおさき」

## 子ども作文・絵画コンクール

子どもたちが描く「未来のおおさき」を市内の小中学生から募集したところ、作文・絵画合わせて約400点の応募がありました。それぞれの部門の最優秀作品を紹介します。なお、子どもたちの意見は現在策定中の総合計画に活用します。

☎ 企画調整課政策調整係 ☎23-2129

### 私たちの大崎市

古川中学校3年  
こいで かずえ  
小出 一恵さん

作文 中学生の部  
最優秀賞

**四**月。私たちは馴染んだ町や市に別れを告げて、新しい歴史を歩むことになりました。一市六町の合併により、大崎市となったのです。最初の頃、私には「合併して何がいいだろう。」という疑問があり、むしろ町の個性などが失われてしまつんじゃないかと、ただ首をかしげていました。そんな時、私は大崎市の特集をしてる番組を見ていました。さまざまな地域の人たちが、ブラウン管からこちらに笑顔を見せていました。それから写し出される、こけしやコスモス園、ひまわり畑やお祭りなど、その地域に根付いた行事の数々を見て、「同じ大崎市でも、そこにある伝統が消えるわけじゃない。それを楽しんで生きる人たちが増えるんだ。」と思いました。それから私は、これから大崎市で生きる、私と同世代の人にも、ぜひこの魅力を知ってほしいと思いました。修学旅行などで東京に行く機会があると、私もそうなのですが、友だちが口をそろえて「空気が違う。」といいます。空気というのはそのままの意味でもありますが、雰囲気もそのひとつです。都会の人は歩くのが早いというイメージがあり、どこかセカセカしていて神経質な感じがします。大崎はちがいます。雰囲気が優しいのです。稲の穂がたれて風にゆれていたり、空に向かっている木のすき間から光る太陽のようです。皆さん、一度はこんな風景を見たことがありませんか？

私は大崎市になる前から見ています。類は友を呼ぶというように、なごやかな町が集まり、大崎ができたのです。さて、私が思う大崎市の一番いいところ、それは自然の豊かさだと思っています。さきほど触れた空気も、それを象徴するとは思いますが、何よりも私が「これが大崎の自然」だと思つのは、田んぼなのです。春は小さな苗が心細いのに、夏が来れば青い葉を空にのびのびと、秋になると金色の稲が風にゆれて、冬は静かに田は眠り、来年の春を待つ。田んぼは四季によって姿や形を変えています。つまり大崎市は身近に四季を感じられる、すばらしい所なのです。これは行事にも表れており、ひまわり園は夏の太陽に負けんと背をのびして私たちを楽しませ、コスモス園は秋の風の中に優しい花びらをひらつかせ。他にもたくさん行事がありますが、どれをとっても、大崎と自然は切っても切り離せないものだと語ってられます。人は、育つた土地によって性格が変わるといふことが本ならば、大崎の人たちは春風のように優しく、夏の太陽のように輝いて、秋の空のようにのびやかで、冬の雪のように素朴な人なのではないでしょうか。町内の掲示板などに、よく「〇〇町内運動会」などといった、小さな行事が告示されています。それが、大崎のよい所「地域の密接なつながり」を示しています。大崎では、地区や地域ごとに、頻繁に行われています。



(絵画 中学生の部) 最優秀賞の該当はありませんでした。

### 花いっぱい・楽しい大崎

**ヒ** マワリの大きな花の中に、鳴子の温泉やこけし、古川の緒絶川、あやめなどを描きました。大崎市のいいところがずっと受け継がれて、たくさんの人たちに来てほしいと思います。

絵画 小学生の部  
最優秀賞

古川第一小学校4年  
ちば はるな  
千葉 春菜さん



作文 小学生の部  
最優秀賞

### 未来の大崎市

鹿島台第二小学校6年  
わたなべ なおや  
渡邊 直也くん

**未**来の大崎市は、緑やきれいな川があって、地域の人たちがほかの地域の人たちともしっかりと交流する市になってほしいと思います。緑がたくさんあるまちにしたいとは、次のように考えるからです。僕たちが住んでいる鹿島台も山や川がたくさんあります。近くには、鳴瀬川や吉田川が流れています。僕の家も近くに川があります。最近では、ゴミが落ちていたりします。以前僕の家後の家の近くの小さな川が干涸びて、家の中に土砂が入ってきたことがあると聞きました。もしその後の山がくずれたら僕の家にも土砂が来たりかもしれません。今話題になっている、森林が伐採されるなどのことが未来の大崎市におきていたら、洪水などで悩まされることになると思います。そうならないように、大崎市の緑を増やして山くずれや、洪水などの災害が起きないようにしたいと考えています。地域と地域の人たちが交流してほしいというのは、鹿島台では、もんきつきや、たんがらおどり、なごがあるように、各地域にもそれぞれ受け継がれていることがたくさんあると思います。その受け継がれていること、伝統芸能などが、いろいろなものや次の時代の人々に伝え、大崎市の人々に伝えたい、広げていくことが、市町村がいついなくなった大崎市を一つにするにつなげることで、僕は考えます。いろいろなことで、地域の人々が交流を深め、仲よく活動していけたらいいと思います。僕は、市町村が、合併した大崎市はとも良いところだと思っています。僕が思う未来の大崎市は、きれいな川や緑があって、地域の人たち一人ひとりが手をつなぎ力を合わせて、今よりもっと、「すみよい町になる」と思っています。僕は、今よりもっといい町にするために、「ミロのいなか」僕にできることがあればやっていきたいと思っています。そして、未来も、すむこの大崎市で生きていきたいと思っています。



### 総合計画

皆さんから寄せられた

「わたしからのメッセージ」★

総合計画策定における「わたしからのメッセージ」を広報おおさき八月号で募集したところ、百五人から百八十四件のメッセージが寄せられました。

主な内容は、公共交通をはじめ、観光や健康・医療、子育て支援、図書館・市職員との接遇など、さまざまな分野にわたっています。皆さんから寄せられたメッセージは、現在開催している市民検討会議や各種会議等で活用させていただきます。ありがとうございます。

分野	件数
① 市民参画・行政改革	37
② 都市・交流基盤整備	33
③ 防災・安全	4
④ 教育・文化	34
⑤ 産業振興	18
⑥ 保健・医療・福祉	35
⑦ 自然・生活環境	23